平成22年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校 学校番号 2.7

自己評価

1 学校教育目標

誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体のうえに、すぐれた 知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。

(1)社会で通用する確かな力を身に付けさせる。

- (2)ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。
- (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。

2	評価する領域・分野	生徒指導(教育	育相談)	
3	現状・生徒及び保護者等を 対象とするアンケートの結 果分析等	《アンケート結果より》 ・マナーや社会規範指導について、保護者は94%、生徒は91%が「あてはまる」と回答し、全体として落ち着いた学校生活が維持できていることが分かった。 ・生徒一人一人にあった生徒指導について、「わからない」の回答が保護者で2%、生徒では3%あった。昨年度より大幅に減少し、本校の教育方針と指導の様子が保護者にはっきりと伝わるようになったことが分かった。 《地区別懇談会より》 ・携帯電話の持ち込みについて校内への持ち込みを禁止してほしいという要望が多く寄せられた。その反面、送迎や非常事態での使用を求めてほしいという相反する要望もあった。		
4	今年度の具体的かつ明確な 重点目標	授業規律の徹底とマナー意識の向上を図る 身だしなみを正しマナーや社会規範を身につける指導を行う メール配信や文書連絡により、保護者との連携を図る。		
5	重点目標を達成するための 校内における組織体制	・全職員による組織的な指導を展開する。・メール配信を活用し保護者との連絡を密にする。		
6	目標の達成に必要な具体的な取組		7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(3)	(1) 全職員による「登校指導、交通安全指導、 身だしなみ指導」を行い、規範意識の向上を 図りあいさつを励行する。 (2) 主任による登校指導を率先して行い学期初 めの適応指導と8時25分入室完了の徹底を 行う。 (3) 年7回身だしなみ指導を実施し正しい身な りで学校生活を送る基礎を築く。 (4) 累積指導を行い、日常的な生活習慣の確立 と授業規律の向上を図る。 (5) 迷惑調査や生活実態調査、交通安全実態調 査などを行い在校生の実態を把握する。) 保護者との連携(学校メールなど)を図る。		 (1)欠席や遅刻が昨年度より減少できたか。 あいさつがしっかりできているか。 合羽による通学の定着が徹底できたか。 (2)8時25分入室完了を徹底し、落ち着いた学校生活を送る準備ができていたか。 (3)身だしなみ指導での再指導生徒を減少させ、身だしなみ規律が徹底できたか。 (4)落ち着いた雰囲気で授業に臨めているか。 (5)あらゆる指導で、担任・学科・学年・学校全体が連携して指導に取り組めたか。 (6)各種調査結果と実感できる生徒の実態の間でのギャップが生じていないか。 (7)学校の取り組みが保護者に伝わっているか。 	
8	取組状況・実践内容等		9 評価視点	10 評 価
車安 た。 ・学	交門指導、交通安全指導を全職を全 で全指導やマナー指導(あいる 全年会毎に全クラスの身だした した基準で規範意識を身に付け	さつ運動)を行っ なみ指導を行い統	組織的に登校指導、身だしなみ指導を行うことができたか。 欠席や遅刻を減少させることができたか。 授業規律が徹底できているか	A B C D A B C D A B C D

・4、9、1月に累積指導を行い授業規律や規範 (私語、居眠り)。 意識をチェックする。担任、学科、学年と連携し 学校全体での連携が取れたか。 В C D て生徒の指導育成にあたった。 学校の取り組みに対し保護者 ・本校の行事や啓発活動をメールにより保護者に の理解が得られていたか。 В C D も配信した。 11 学年会中心に身だしなみ指導を行うことにより、指導基準の統一と公平性 成 を保つことができた。(担任の負担が軽減した) 繎 合 評 価 雨天は、ほとんどの生徒が合羽を着用し、「傘さし禁止」がほとんどの生 果 C 徒に定着することができた。 В D 課 身だしなみを普段から整える習慣がついている生徒が、昨年度の同時期 (秋)と比較し、13.2%増加した。 累積指導により、学校全体での指導体制を整えることができた。 交通マナーに対し、いつも守っていると回答した生徒が10%増加した。 10月までの欠席が昨年度比で24.6%増加した。遅刻は12.3%減 少した。 交通安全実態調査(12月実施)では、無施錠、左側走行、並進が多く、 自転車走行が自己中心的になっている割合が相変わらず多い。(無施錠8%、

12 来年度に向けての改善方策案

左側走行32%、並進45%)

全職員による登校指導、交通安全指導、身だしなみ指導を継続し職員の共通行動と生徒の基本的生活 習慣の維持を図る。

学期初めの主任による登校指導を継続し学校生活への適応化を図る。

累積指導により、軽微な問題行動を改善し授業規律の確保と学習への集中力向上させ、職員の連携を 高め見逃さない指導を徹底する。

交通安全教室などにより交通安全とマナーの一層の向上を図る。

MSリーダーズ活動を活性化し、校内外での規範意識や交通安全意識の向上を図る。

「のびのびプロジェクト」などの機会を利用し、あいさつの励行や仲間意識の向上を図る。